

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市における熱中症対策の推進について</p> <p>【質問趣旨】 熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指す。屋外だけでなく室内で何もしていない時にでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもある。熱中症について正しい知識を身に付け、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぐことが大切である。記録的な猛暑が続く中、7月末からの1週間では、全国で1万人超が熱中症により救急搬送された。国は対策強化に向け、気候変動適応法を改正し、自治体などによる</p>	<p>(1) 熱中症 (疑いを含む) による救急搬送の状況について</p> <p>(2) 熱中症対策の周知について</p>	<p>①本市の熱中症救急搬送の状況については、令和3年51人、令和4年82人、令和5年60人(8月8日現在)となっている。上昇傾向と考えるが、どのように分析しているのか伺う。</p> <p>②高齢者の搬送が多いと伺うが、高齢者、成人、少年、乳幼児など年齢区分はどのようなか伺う。</p> <p>③搬送車数調査票を見ると、特に6月、7月、8月に搬送が多いが、救急体制に支障が出るようなことは、これまでもなかったのか伺う。</p> <p>①政府の熱中症対策のパンフレットを見ると、熱中症警戒アラート・WBGT(暑さ指数)・熱中症予防に関する情報など多くの情報が掲載されているが、本市は、これらの情報をどのように市民に周知しているのか伺う。</p> <p>②熱中症は、適切な予防や対処が実施されれば、死亡や重症化を防ぐことができる。熱中症は人の生命に関わることであることから、熱中症対応マニュアル等の作成やWBGT(暑さ指数)の認知度向上や行動変容につながる情報発信も必要と考えるが、どのように考えるのか見解を伺う。</p> <p>③埼玉県熊谷市では、熱中症警戒アラートが発表された際には、健康づくり課が各部局などに情報を伝達する。市民に向けては、防災行政無線や巡回車両による広報、デジタルサイネージ(電子看板)などで警戒を呼び掛ける。また、市営住宅に住む単身高齢者世帯などには電話連絡も実施するなど、各課がスムーズに動ける体制が整っている。本市としても、市役所を挙げて注意喚起を行う体制構築は必要だと考えるが、どのように考えるのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

25番	長江 秀幸 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(5) イベント時の熱中症対策について</p> <p>(6) 今後の取り組みについて</p>	<p>① 9月には、「せともの祭」「招き猫まつり」などが開催される。多くの方が本市へ訪れることが予測されるが、熱中症対策については十分な対策がなされていくのか伺う。</p> <p>① 5月に初めて閣議決定された「熱中症対策実行計画」では、2030年までの目標として、2022年に1295人(5年移動平均)だった熱中症による死者数の半減をめざすとあり、自治体には、庁内体制を整備し、自主的かつ主体的な熱中症対策を推進するよう求めている。本市として今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>② 今後、熱中症対策を進めるため、具体的に目標設定等を行い、計画を策定していくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。